

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公開番号】特開2017-86182(P2017-86182A)

【公開日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-216182(P2015-216182)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月30日 (2018.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼の OCT データを処理する OCT データ処理装置であって、  
OCT 光学系によって取得された OCT データを解析する演算手段を備え、  
前記演算手段は、前記被検眼の血管を含む血管走査領域における画像情報に基づいて、  
前記血管に関する動静脈情報を取得することを特徴とする OCT データ処理装置。

【請求項 2】

前記演算手段は、前記血管走査領域において血管壁を検出し、前記血管壁の輝度情報に基づいて、前記血管に関する動静脈情報を取得することを特徴とする請求項 1 の OCT データ処理装置。

【請求項 3】

前記演算手段は、前記血管走査領域において、前記血管壁と前記血管壁に囲まれた中空部との輝度値を比較し、前記血管壁の輝度値が前記中空部の輝度値よりも大きい場合に前記血管が動脈であるという前記動静脈情報を取得し、前記血管壁の輝度値が前記中空部の輝度値よりも小さい場合に前記血管が静脈であるという前記動静脈情報を取得することを特徴とする請求項 2 の OCT データ処理装置。

【請求項 4】

前記演算手段は、前記 OCT データから複数の血管にそれぞれ対応する複数の血管走査領域を特定し、特定した前記複数の血管走査領域における OCT データの画像情報を比較することによって、前記複数の血管に関する動静脈情報を取得することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかの OCT データ処理装置。

【請求項 5】

被検眼の OCT データを処理する OCT データ処理装置において実行される OCT データ処理プログラムであって、

前記 OCT データ処理装置のプロセッサによって実行されることで、

OCT 光学系によって取得された OCT データを解析し、前記被検眼の血管を含む血管走査領域における画像情報に基づいて、前記血管に関する動静脈情報を取得する取得ステップと、

を前記ＯＣＴデータ処理装置に実行させることを特徴とするＯＣＴデータ処理プログラム  
°